

令和2年度愛媛人物博物館 夏季企画展

あるがままに、自由に

野間仁根の世界

令和2年 8月15日(土) ~ 10月4日(日)



[夜の床 / 愛媛県美術館蔵]

[来島水道 / 愛媛県美術館蔵]



◇会場 愛媛県生涯学習センター内

愛媛人物博物館 3階 企画展示室

◇開館時間 9時~17時30分

(博物館への入館は17時まで)

◇休館日 9月7日(月)、14日(月)、23日(水)、28日(月)

◇主催 愛媛県生涯学習センター

◇後援 愛媛県教育委員会、今治市、今治市教育委員会

愛媛新聞社、NHK松山拠点放送局、南海放送
テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ

愛媛CATV、FM愛媛

◇協力 愛媛県美術館、今治市吉海郷土文化センター

今治西高等学校、一陽会、江澤館、西条中央病院
株式会社瀬戸内人

無料入場

～あるがままに、自由に～ 野間仁根の世界

明治34年、野間仁根は大島の津倉村（現、今治市吉海町）に生まれました。今治中学校から川端画学校を経て東京美術学校に進みました。二科展において、昭和3年に梶牛賞、翌年には二科賞を受賞し、画家としてその名が広く知られるようになりました。また、新聞小説や児童文学作品に挿絵を提供するなど活躍しました。戦後は二科会の再建に参加しますが、昭和30年に一陽会を結成、その発展に尽くしました。一方、釣り好きでも知られており、呑馬先生釣日記という著書が残されています。

野間は画題として昆虫・草花・魚貝・海といった身近にある自然をこよなく愛し、動物・星座などでは幻想的な世界を描きました。明るく穏やかに描かれた故郷の瀬戸内海には温和で明るく気取らない性格があらわれ、ユーモラスな動物や星座には自由に屈託のない作風が感じられ絵を描く喜びにあふれています。

幻想的に、色鮮やかに、そして、～あるがままに、自由に～描かれた野間の世界をご覧ください。



制作風景／今治市吉海郷土文化センター提供



平成2年頃の生家・今治市吉海町福田



江澤館・千葉県鴨川市太海浜／江澤館提供



呑馬先生釣日記



〔魔法の森／愛媛県美術館蔵〕



〔漁火／愛媛県美術館蔵〕



〔画室／愛媛県美術館蔵〕



〔天の河／今治市吉海郷土文化センター蔵〕



〔夜々の星／愛媛県美術館蔵〕



〔瀬戸内海 日の出／今治市吉海郷土文化センター蔵〕

関連講座「野間仁根 その人と作品」

講師 愛媛県美術館専門学芸員 長井 健氏

- 9月20日（日）13時30分～15時30分
- 要事前申込（定員50名）
- 住所・氏名・連絡先を明記して葉書・FAX・HPお問い合わせまたはTELにてお申し込みください。
- 会場は愛媛県生涯学習センター内研修室です。
- 感染症拡大防止のため、中止となる場合がございます。

受講無料

愛媛県生涯学習センター

指定管理者／株式会社レスパコーポレーション

〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲 650 番地
TEL 089-963-2111 FAX 089-963-4526 URL <http://www.i-manabi.jp/>



交通案内図



駐車案内図

- お車で越しの方は…隣接駐車場（約400台）をご利用ください。
- バスご利用の方は…
- 伊予鉄バスの場合 ○砥部方面行き→下原町バス停にて下車（徒歩約15分）
- 伊予鉄バスの場合 ○丹波方面行き（森松バス停乗車）→県生涯学習センター前バス停にて下車
- JRバスの場合 ○久万高原町方面行き→下原町バス停にて下車（徒歩約15分）

お問い合わせ
お申し込み